

# 保育における音環境チェックリスト

このチェックリストは、保育者が園の音環境に意識的になること（音環境を保育にいかすこと）をねらいとして、作成いたしました。

チェックリストの各項目は、保育の良さを表すものではありません。日ごろの保育で意識していることや行っていることを、チェックリストに記入することを通して考えてみて下さい。

## 園内研修などでの利用の仕方

- ① まず一人で、チェックリストすべての項目(記述式も)を記入します。  
記述式では、どのようなことを書けばよいのかわからない場合もあると思いますが、各自の解釈でまずは書いてみましょう。
- ② 各自記入したチェックリストを基に、グループで意見を出し合ってみましょう。  
1 グループ 4～5 人程度になるようにします。0 歳児担当、1～2 歳児担当、3～5 歳児担当、と  
いうように分かれてもよいですし、保育経験年数の近い者同士でもよいでしょう。  
グループの中でどんな意見でも発表できるような、話しやすい雰囲気を作ることが大切です。  
また、記録担当を決めておくとよいでしょう。
- ③ グループで話し合ったことを発表します。  
話し合った内容について、発表をします。形式は自由ですが、とくに意見が同じだったところ、  
違ったところ、解釈の難しかったところなど、ポイントを絞って発表した方がよいでしょう。  
最後に、主任の先生や園長先生から講評をいただきますよう。

このチェックリストは、平成 21 年度文部科学省科学研究費補助金研究 基盤研究(C)「音環境をいかした保育のカリキュラム開発」(課題番号：21610027)の一環として作成しました。

高崎健康福祉大学短期大学部	岡本 拓子(研究代表者)
白梅学園大学	無藤 隆
東京家政学院大学	新開 よしみ
埼玉学園大学	松寄 洋子
ノートルダム清心女子大学	吉永 早苗

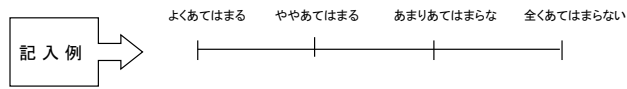
このチェックリストや園内研修等に関するお問い合わせは、岡本拓子までお願いいたします。

okamoto@takasaki-u.ac.jp

# 保育における音環境チェックリスト

## ■ 回答方法

各質問項目について、「よくあてはまる」、「ややあてはまる」、「あまりあてはまらない」、「全くあてはまらない」の中からもっとも当てはまると思われるものの線上に○を付けてください。



よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない 全くあてはまらない

- 1) 子どもは、身近な楽器や音の出る素材の音色や音の違いに興味をもち、自ら関わろうとしている。 |-----|-----|-----|
- 2) 子どもは、様々な素材を用いて、一人でまたは子ども同士で関わりながら、音作り、音楽作りを楽しんでいる。 |-----|-----|-----|
- 3) 子どもは、文化、芸術としての音や音楽に興味をもち、自ら関わろうとしている。 |-----|-----|-----|
- 4) 子どもが、身近な楽器や音の出る素材に自ら関わり、親しむような保育活動がある。 |-----|-----|-----|
- 5) 子どもが、文化、芸術的な音楽や伝統芸能（生の演奏、お囃子、和太鼓など）にふれられる機会がある。 |-----|-----|-----|
- 6) 集団での音楽活動（歌や合奏など）を发表する機会がある。 |-----|-----|-----|
- 7) 子どもは、自然の中の様々な音に興味をもち、自ら関わろうとしている。 |-----|-----|-----|
- 8) 子どもは、友だちや保育者の発する音、声、音楽に興味をもち、自ら関わろうとしている。 |-----|-----|-----|
- 9) 子どもは、生活の中にある様々な音、声、音楽に興味をもち、自ら関わろうとしている。 |-----|-----|-----|
- 10) 子どもはあそびの中で、即興的に歌うことを楽しんでいる。 |-----|-----|-----|
- 11) 保育者は、子どもが生活の中にある様々な音に注意を向けるような環境を整えている。 |-----|-----|-----|
- 12) 保育者は、子どもが自然の中で様々な音に気づくような環境を整えている。 |-----|-----|-----|
- 13) 保育者は、子どもが身近な楽器や音の出る素材の音色や音の違いに気づくような環境を整えている。 |-----|-----|-----|
- 14) 保育者は、子どもが自分・友だち・保育者の発する音、声、音楽に注意を向けられるような環境を整えている。 |-----|-----|-----|
- 15) 保育者は、園にある自然の中の、様々な音に気づいている。 |-----|-----|-----|
- 16) 保育者は、園の中にある様々な生活音に気づいている。 |-----|-----|-----|
- 17) 保育者は、園にあるモノ（机や椅子など）が発する音の大きさや質に気づいている。 |-----|-----|-----|
- 18) 保育者は、園にある遊具（積み木やブロックなど）が発する音の大きさや質に気づいている。 |-----|-----|-----|
- 19) 保育者は園の中で、音がよく響く場所とあまり響かない場所を把握している。 |-----|-----|-----|

■ 以下の質問に、具体的にお答え下さい。

1) 子どもの遊びが、保育者の発する音、声、音楽によって誘発されると感じるのはどのような場合(状況)ですか。具体的にお答え下さい。

2) 保育者自身が発する物音を意識するのはどのような場合(状況)ですか。具体的にお答え下さい。

3) 一人一人の子どもや状況に応じて、言葉を選んで語りかけるのはどのような場合(状況)ですか。具体的にお答え下さい。

4) 保育者自身の子どもに語りかける声の大きさや調子をどのように意識しますか。具体的にお答え下さい。

5) 保育者自身が言葉だけで子どもに指示してはいないか注意する場合、どのように意識しますか。具体的にお答え下さい。

6) 絵本などを読む際の声の大きさや調子をどのように意識しますか。具体的にお答え下さい。

7) 保育者自身の歌う際の歌声の大きさや声色をどのように意識しますか。具体的にお答え下さい。

8) 保育者自身の楽器を演奏する際の音の大きさや音色をどのように意識しますか。具体的にお答え下さい。